

かめっ子だより

No. 12

令和7年5月9日

八尾市立亀井小学校

校長 柴山 八寿夫

「大阪・関西万博」に行ってきました 万博リポートその1

テレビ等のニュースで、万博の話題がひっきりなしに報じられています。それを観ると、赤白帽や黄帽をかぶった小学生が映っていたり、小学生がインタビューを受けている様子が映っていたりもします。また、八尾市の小・中学校でも、次々に行ってきたという情報が入っています。

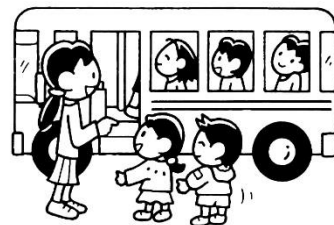
そんな中、6年生が亀井小学校の先陣を切って、8日（木）に行ってきました。内容や子どもの感想については、後日『学校新聞』にてお知らせさせていただきますが、『かめっ子だより』では、同行した私の方で実際に体験し、感じたことを書かせていただきます。これから実施される各学年の参考になればと思います。

バスでの移動は快適！ 思ったより早く到着しました

8時15分、学校に集合した6年生。点呼した後バスに乗り込み、出発したのは予定通りの8時30分。道路は渋滞もなく、八尾ICからスムーズに高速道路にも乗れ、あれよあれよという間に万博会場の団体バス乗降場（第2交通ターミナル）に到着しました。私が乗車した4号車では、DVDを観始めたと思ったら、もう会場に着いたという感じ。時刻は9時10分、なんと40分で到着したことになります。亀井小学校のバスの入庫時刻は、9時40分だったのですが、こちらも問題なく入れてもらいました。

日が良かったのか、出発時刻が良かったのか、この日は本当に早く到着することができました。亀井小学校では全学年8時30分出発なので、どの学年もこの調子で到着してくれることを願っています。

第2交通ターミナルから約1kmの道のりを10分かけて歩き、万博会場の入り口西ゲートに到着しました。時刻は9時25分。でも、亀井小学校の入場は10時から。まだ30分もありましたが、係りの人に誘導され待つことしばし。こちらもすぐに入れてもらうことができました。



チケットを手にして、いよいよ入場！

4月5日（土）の「テストラン」の時は、西ゲートも長蛇の列。入場者に対するチェックが厳しく、入場するのに結構な時間がかかっていました（1時間以上待った人がいたという報道も…）が、小学校などの団体は、専用の入り口から入ることができました。教員のみ荷物検査（空港などにある機械を通すもの）がありましたが、児童は一人ひとりに渡したチケットを受付の人が読み取るだけで、スムーズに通れました。結果、予定より30分も早く入場でき、活動時間にも余裕ができました。



大屋根リングに上って、会場の全貌を把握

トイレを済ませ、クラス写真を撮った後は、いよいよ活動の始まりです。11時には、予約している「GUNDAM NEXTFUTURE PAVILION」の場所にいないといけませんので、それまでの時間をどう過ごすか。30分も早く入場できたので急遽予定を入れ替え、先に万博のシンボルともいわれる巨大な木造建築物「大屋根リング」に上りました。上から見た景色は最高！海を挟んで神戸の街並みは見えるし、遠くは明石海峡大橋や淡路島も見えました。リング内を見渡すと、特徴ある形をした外国のパビリオンがひしめき合っている様子がよくわかりました。大屋根リングの6分の1ほどの距離を歩いただけでしたが、結構疲れました。子どもたちも景観を楽しむどころではなかったかな？

